

第3回【がん患者における摂食・嚥下リハビリテーション】講習会 アンケート結果

日時 : 平成 28 年 1 月 29 日(金) 19:00~21:00

場所 : 東京歯科大学 水道橋校舎本館 14 階 大会議室

アンケート回収枚数 : 55 枚 参加者 : 67 名

I.性別

男	23
女	32

II.年齢

10~20代	20
30代	20
40代	7
50代	4
60代以上	2
無回答	2

III.職業

大学院生	14
研修医・専門医	5
医師	0
歯科医師	13
大学教員	3
看護師	4
薬剤師	0
大学生	0
その他	15
無回答	1

その他…DH 10 名、(M)SW 2 名、ST 1 名、栄養士 1 名、不明 1 名

IV.この講習会は、どのような方法で知りましたか？(複数回答を含む)

ポスター	10
大学メール	40
がんプロ HP	3
知人紹介	2
その他	1

その他…勤務先の病院

V.本講習会の感想をお聞かせ下さい。

大変満足	12
満足	31
普通	11
不満足	0
大変不満足	0
無回答	1

VI.本講習会の内容について理解できましたか？

よく理解できた	9
理解できた	27
どちらともいえない	13
あまり理解できなかった	3
全く理解できなかった	0
無回答	3

VII.『がん患者における摂食・嚥下リハビリテーション』に関する感想、ご意見などをお書き下さい。

- ◇ とても良い企画で大変勉強になった。
- ◇ 今回のように他職種医師の講演は良かった。
- ◇ STとして非常に興味深い内容だった。
- ◇ 研究と臨床が合った内容でわかり易かった。
- ◇ すぐに使える訓練法など役立つ内容が多くて良かった。
- ◇ 具体例が多くてわかり易く、明日からの臨床に役立つことが多かった。
- ◇ ボディイメージの再建から始めていくというのが印象に残った。
- ◇ 実際の嚥下訓練内容を詳しく知れて良かった。ポイント等がわかり易かった。
- ◇ 嚥下訓練について、他病院で行っている方法がわかってとても勉強になった。
- ◇ 歯科衛生士も嚥下訓練をもっと積極的にやっていこうと思う。
- ◇ 術後のケアやリハビリばかりに気をとられていたが、術前から訓練を行うことの大切さがよく解った。そのためには、嚥下の仕組みの知識をしっかりと学んで患者に説明できるよう努力したい。
- ◇ これまで口腔がん術後よりも脳血管障害患者の嚥下リハと栄養管理に携わることが多かったが、術前の口腔ケアやイムノニュートリションと併せて対策も取り組んでいけると更に効果的と思った。
- ◇ 口腔がん患者には「摂食・嚥下リハビリテーション」必須と考えられる。指導を与えるにも根気強く、繰り返し行うことが重要。
- ◇ 患者にとって食事摂取有無は QOL を左右するものだが、経口摂取難と評価した際、経口摂取を希望する方にはどのように関わっているのか知りたい。
- ◇モチベーションを下げずにリハビリすることの難しさ、子供の食育にも活かせないか？と感じた。

- ◇ 当院には ST が居ないので、構音訓練についての内容がもっと多いと良かった。実践にすぐ繋がるように実習があっても良かったかもしれない。
- ◇ チーム医療には興味あるが、PAP を作れない歯科でなくて良かった。
- ◇ 映像があって良かったが、全体的に小さかった。

VIII.本講演会に参加して頂いた理由は何ですか？(複数回答を含む)

講師が良かった	10
自分自身に必要な	35
都合がついた	9
参加要請があった	2
その他	1
無回答	1

その他…口腔がん治療について勉強したかった

IX.今後同様な講演会を開催した場合に参加したいと思いますか？

是非参加したい	17
参加したい	30
どちらともいえない	8
余り参加したくない	0
参加したくない	0

X.今後、がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの企画等への希望や期待することなど、ご意見をお書き下さい。

- ◇ ハンズオンセミナー
- ◇ 緩和ケア、患者の心理について
- ◇ 術後せん妄や食事など他科の講演
- ◇ シンポジウム形式の講演
- ◇ 顎補綴について「術後(直後～創部安定まで)／創部安定後の完成形のギシ形成」
- ◇ インターネットを介した LIVE 講演や期間限定での動画公開
- ◇ 口腔がんの治療法、もう少し難度の低い基礎的な講習
- ◇ より詳細な ST リハについての勉強会(他職種連携の貴重な機会)
- ◇ 支持療法としての NST・栄養療法について
- ◇ これまで展開してきたように治療から支持療法まで現行の治療体系をわかり易く企画して頂きたい